

平成 30 年 1 月 23 日

松川町長 殿

南信州まつかわ観光局（仮称）設立検討委員会

### 南信州まつかわ観光局（仮称）設立に関する検討結果報告書

南信州まつかわ観光局（仮称）の設立について、平成 28 年 9 月 13 日より計 17 回の会議（設立検討委員会 11 回、幹事会 6 回）を経て、設立に関する検討結果を、別紙（南信州まつかわ観光局（仮称）設立検討結果報告書）のとおりまとめましたので、報告いたします。

(別紙)

平成30年1月23日  
南信州まつかわ観光局(仮称)設立検討委員会

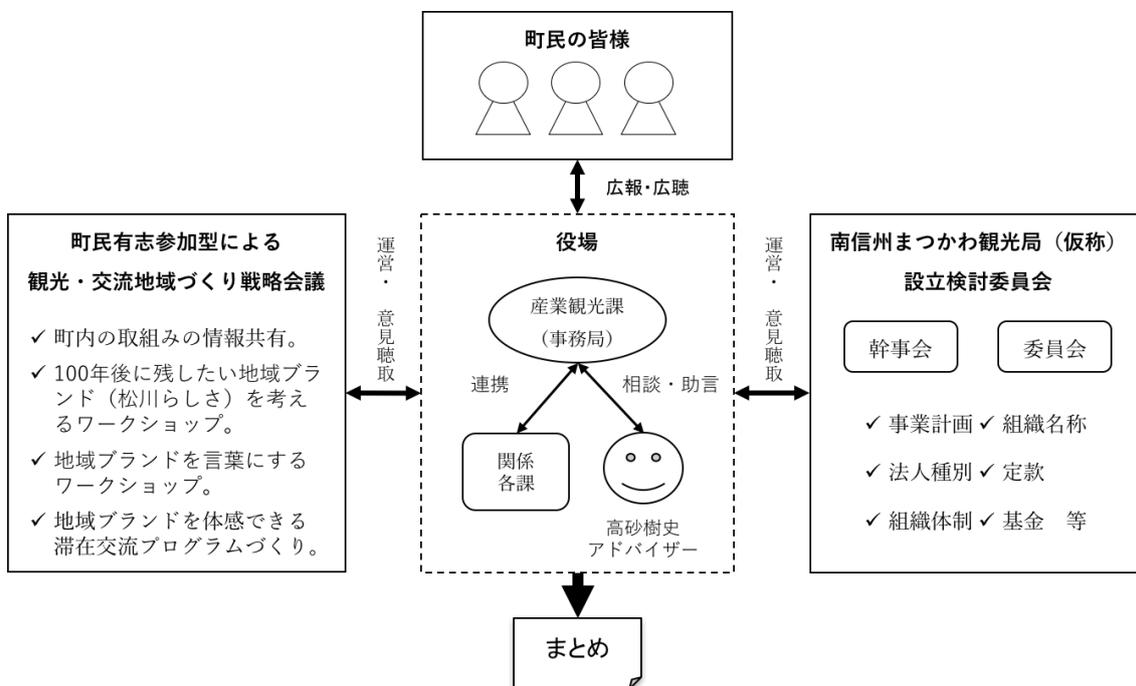
## 南信州まつかわ観光局(仮称)設立検討結果報告書(案)

(目次)

1. 検討体制
  - 1-1. 会議等の関係図
  - 1-2. 設立検討委員会等名簿
2. 全体スケジュール
3. 各種検討経過
  - 3-1. 設立検討委員会
  - 3-2. 観光交流地域づくり戦略会議
  - 3-3. モニターツアー
  - 3-4. 観光・交流地域づくりセミナー
  - 3-4. まつかわ観光まちづくりだより
  - 3-5. 広報・マーケティング
4. 検討結果(経営計画)
  - 4-1. 経営理念
  - 4-2. 事業計画
  - 4-3. 経営目標
  - 4-4. 組織体制
  - 4-5. その他

# 1. 検討体制

## 1-1. 会議等の関係図



## 1-2. 設立検討委員会等の名簿

### 1-2-1. 設立検討委員会

(敬称略)

所属等	氏名	役職	備考
町観光協会 会長	鋤柄 富男	委員長	
町観光協会 顧問	荻原 正義		
松川町長	深津 徹		
松川町副町長	吉澤 澄久		
松川町商工会 会長	大原 昭彦	幹事	
信州松川くだもの観光協会 前会長	大場 敏文	幹事	
信州松川くだもの観光協会 会長	大場 操	幹事	
町観光協会 宣伝部副部長	中平 孝雄		
松川町料飲組合 会長	川部 初江		~H29.3
松川町料飲組合 副会長	西村 真一		H29.4~
議会 総務産業建設常任委員長	米山 俊孝	副委員長	~H28.11
議会 総務産業建設常任委員長	黒澤 哲郎	副委員長	H28.11~
信州松川くだもの観光協会 副会長	須甲 昌光		H29.2~
(議会 総務産業建設常任副委員長	黒澤 哲郎	幹事	~H28.11)
議会 総務産業建設常任副委員長	間瀬 重男	幹事	H28.11~
信州松川くだもの観光協会 副会長	宮下 彰		
松川町商工会 副会長	小澤 文人		
JAみなみ信州松川支所 支所長	大沢 史人		

清流苑経営会議 委員	唐澤 邦博	幹事	
清流苑経営会議 委員	西尾 玲子		
農業委員会 会長	佐藤 清		
JAみなみ信州松川支所 経営委員長	大島 慎男	幹事	
JAみなみ信州 理事	大石 和幸		
農村女性ネットワーク 会長	松井 悦子		
農村マイスター 会長	中島 光子		～H29.3
農村マイスター 会長	佐々木 康子		H29.4～
松川町認定農業者連絡会 会長	知久 治		～H29.3
松川町認定農業者連絡会 会長	米山 春彦		H29.4～
松川ファーマーズクラブ 会長	金山 秀和		
若手農業者の会若武者 会長	大久保 康司		～H29.3
若手農業者の会若武者 会長	水野 肇		H29.4～
八十二銀行松川支店 支店長	中田 博万		～H29.3
八十二銀行松川支店 支店長	北澤 克己		H29.4～

### 1-2-2. 観光まちづくりアドバイザー

高砂 樹史	長野県 DMO アドバイザー
-------	----------------

### 1-2-3. 庁内検討会議

所 属 等	氏 名	備考
副町長	吉沢 澄久	
教育長	高坂 敏昭	
まちづくり政策課長	下沢 克裕	
まちづくり政策課まちづくり推進係長	佐々木 保	
まちづくり政策課企画財政係長	西浦 素之	
総務課長	塩倉 智文	
総務課行政庶務係長	矢澤 覚	
生涯学習課長	小木曾 雅彦	
生涯学習課生涯学習係長	望月 貴生	
産業観光課長	田中 学	
産業観光課清流苑総支配人	北沢 秀公	
産業観光課商工観光係長	宮島 公香	
産業観光課観光局設立準備室		

## 2. 全体スケジュール … 別紙1

### 3. 各種検討経過

#### 3-1. 南信州まつかわ観光局（仮称）設立検討委員会

平成 28 年 9 月 13 日	第 1 回設立検討委員会 ・松川町版 DMO の設立検討開始（検討委員会の設置）
平成 28 年 10 月 3 日	第 1 回幹事会 ・設立に向けた今後の進め方、戦略会議の参加者募集

平成 28 年 10 月 18 日	第 2 回設立検討委員会 ・ 設立に向けた今後の進め方、戦略会議の参加者募集
平成 28 年 12 月 22 日	第 3 回設立検討委員会 ・ 検討状況経過報告
平成 29 年 1 月 23 日	第 2 回幹事会 ・ 今後の進め方と平成 29 年度事業内容について
平成 29 年 3 月 23 日	第 3 回幹事会 ・ 観光局の目的と事業内容 ・ 地方創生推進交付金の活用について
平成 29 年 4 月 18 日	第 4 回幹事会 ・ 法人形態 ・ 組織体制
平成 29 年 4 月 28 日	第 4 回設立検討委員会 ・ 観光局の目的と事業内容 ・ 法人形態 ・ 組織体制
平成 29 年 5 月 18 日	第 5 回幹事会 ・ 設立趣意 ・ 平成 30 年度事業計画（案）
平成 29 年 6 月 21 日	第 5 回設立検討委員会 ・ 経営理念 ・ 地域ブランド ・ 地方創生推進交付金
平成 29 年 7 月 20 日	第 6 回設立検討委員会 ・ 関係団体との協議状況 ・ 庁内連絡会議の設置
平成 29 年 9 月 27 日	第 7 回設立検討委員会 ・ 関係団体、庁内検討会議での協議状況 ・ 理事会等の組織体制
平成 29 年 10 月 31 日	第 8 回設立検討委員会 ・ 個別事業計画 ・ 松川青年の家後利用について
平成 29 年 11 月 30 日	第 9 回設立検討委員会 ・ 理事会等の組織体制 ・ 個別事業計画（3 年）
平成 29 年 12 月 13 日	第 6 回幹事会 ・ 定款、基金、会費 ・ 組織体制 ・ 中期経営（収支）計画（6 年） ・ 準備委員会の設置
平成 29 年 12 月 19 日	第 10 回設立検討委員会 ・ 定款、基金、会費 ・ 組織体制 ・ 中期経営（収支）計画（6 年） ・ 準備委員会の設置
平成 30 年 1 月 23 日	第 11 回設立検討委員会 ・ 検討結果のまとめ

[http://www.matsukawa-town.jp/cms-sypher/www/event/result.jsp?life\\_supergenre=2&life\\_genre\\_top=&life\\_genre=840&key=](http://www.matsukawa-town.jp/cms-sypher/www/event/result.jsp?life_supergenre=2&life_genre_top=&life_genre=840&key=)

### 3-2. 観光交流地域づくり戦略会議

平成 28 年 10 月 27 日	第 1 回（参加者数 36 名）
平成 28 年 11 月 8 日	第 2 回（参加者数 29 名）
平成 28 年 11 月 21 日	第 3 回（参加者数 25 名）

平成 28 年 12 月 7 日	第 4 回（参加者数 22 名）
平成 28 年 12 月 21 日	第 5 回（参加者数 23 名）
平成 29 年 1 月 12 日	第 6 回（参加者数 23 名）
平成 29 年 1 月 27 日	第 7 回（参加者数 17 名）
平成 29 年 2 月 14 日	第 8 回（参加者数 23 名）
平成 29 年 2 月 24 日	第 9 回（参加者数 18 名）
平成 29 年 3 月 9 日	第 10 回（参加者数 20 名）
平成 29 年 3 月 23 日	第 11 回（参加者数 13 名）
平成 29 年 4 月 27 日	第 12 回（参加者数 17 名）
平成 29 年 5 月 18 日	第 13 回（参加者数 15 名）
平成 29 年 6 月 21 日	第 14 回（参加者数 25 名）
平成 29 年 7 月 20 日	第 15 回（参加者数 19 名）
平成 29 年 8 月 22 日	第 16 回（参加者数 19 名）
平成 29 年 9 月 26 日	第 17 回（参加者数 17 名）
平成 29 年 10 月 31 日	第 18 回（参加者数 14 名）
平成 29 年 11 月 30 日	第 19 回（参加者数 15 名）
平成 29 年 12 月 19 日	第 20 回（参加者数 14 名）
平成 30 年 1 月 30 日	第 21 回予定

### 3-3. モニターツアー

平成 29 年 10 月 26 日	農グループモニターツアー①【大島／西山】 「アルプスを見ながら焼き林檎、りんご茶を楽しむ」 (参加者 5 名)
平成 29 年 11 月 3 日～ 4 日	長野県観光機構シードルツーリズムツアー【大島／ 増野】 [ランドオペレーション] (参加者 20 名)
平成 29 年 11 月 8 日	松川人グループモニターツアー①【大島／堤原】 「おせんしょな農業体験」(参加者 5 名)
平成 29 年 11 月 25 日	自然グループモニターツアー①【生田／峠】 「白諏神社巡り」(参加者 10 名)
平成 29 年 12 月 14 日	農グループモニターツアー②【古町／古町東部】 「市田柿の隠れた魅力発見ツアー」(参加者 5 名)
平成 30 年 3 月予定	企画募集型モニターツアー（清流苑 1 泊 2 日）予定 ・農家の暮らし農業体験 ・アウトドア体験 ・シードル等作り手のこだわり体験 ・郷土料理づくり体験 等

### 3-4. 観光・交流地域づくりセミナー

平成 28 年 10 月 18 日	第 1 回観光交流地域づくりセミナー ・講師 高砂樹史氏（長野県 DMO アドバイザー）
平成 29 年 6 月 5 日	第 2 回観光交流地域づくりセミナー ・講師 アレックス・カー氏

平成 29 年 11 月 22 日	第 3 回観光交流地域づくりセミナー ・講師 清水慎一氏（日本版 DMO(観光地域づくりプラットフォーム)推進研究会)顧問)
平成 30 年 2 月 9 日予定	第 4 回観光交流地域づくりセミナー ・講師 川嶋直氏（公益社団法人日本環境教育フォーラム理事長)

### 3-5. まつかわ観光まちづくりだより（広報）

平成 28 年 9 月～12 月	広報まつかわ平成 28 年 10～29 年 1 月号
平成 28 年 12 月	組合回覧（戦略会議の状況）
平成 29 年 10 月	各戸配布（観光局設立の検討状況 1）
平成 29 年 12 月	各戸配布（観光局設立の検討状況 2）
平成 30 年 2 月予定	各戸配布（観光局設立の検討結果について）

[www.matsukawa-town.jp/cms-sypher/www/common/detail.jsp?id=6951](http://www.matsukawa-town.jp/cms-sypher/www/common/detail.jsp?id=6951)

## 4. 検討結果（経営計画）

### 4-1. 経営理念

松川町の 100 年後にも遺したい地域ブランドを体感できる滞在交流型観光を推進し、地域住民や地場産業等多様な関係者との連携により地域経済の振興を図り、以って、持続可能な地域づくりを目指します。

○地域ブランドに繋がるキーワード

- ① 自然
- ② 農
- ③ 人

### 4-2. 事業計画

#### 4-2-1. 南信州まつかわ観光局（仮称）の特徴

##### ①公共目的をもちつつも民間経営を行う組織

- ・公益事業と収益事業を両方行うため、一般社団法人とします。
- ・行政が行う事業のうち、南信州まつかわ観光局（仮称）（以下「観光局」という。）が行うことで効果が高い事業は行政から観光局に委託する。
- ・民間手法と経営感覚をもった専門人材の雇用と育成を図ります。

##### ②来訪者と地域住民とが繋がる滞在交流プログラムの創出

- ・松川町ならではの自然、人、農的生活を素材にした「情緒的価値」（憧れ・誇りに繋がるもの）を生み出す滞在交流プログラムを創出します。
- ・滞在交流プログラムを通じて、リピーター人口→移住検討人口→定住人口へと繋げていきます。

##### ③「過、泊、食」をコーディネートするワンストップ窓口の提供

- ・過ごし方や体験等の案内及びコーディネート業務を提供します。
- ・個人向け、団体向けに着地型旅行商品（過ごし方や体験＋泊＋食）を

企画販売します。

・訪日外国人旅行（インバウンド）もコーディネートします。

④ 町施設の経営（指定管理制度等）による地域経済の活性化

・地域ブランドの自然を体感できるための施設として、また長く滞在してもらうための宿泊施設として、旧松川青年の家を経営することを検討します。

・町営温泉宿泊施設「清流苑」やフォレストアドベンチャー松川と連携して事業を行います。

⑤ 地域ブランドの形成

・こうした事業をつうじて、「松川ブランド＝○○○○○」をマーケットで確立します。（この地域ブランドは住民が 100 年後の松川町に遺したいものでもある）

#### 4-2-2. 個別の事業計画

##### (1) 滞在交流プログラム事業（造成・販売）

(目的)

・観光客の受け入れ先として、松川町ならではの滞在交流プログラムを企画し販売することにより、地域の振興につなげます。

(事業内)

・自然や人や農的生活を素材にした松川ならではのものを体験して交流するプログラムを地域の方と共同で作し、販売します。

(期待される効果)

- ・地域の新たな生業や経済効果を創出します。
- ・人と人の交流を通じて「松川の誇り」「松川への憧れ」を生み出す。
- ・新たな滞在交流人口の増加を図ります。

##### (2) 観光ワンストップ窓口（旅行業）

(目的)

・地域の着地型旅行商品（過ごし方や体験＋泊＋食）と市場（旅行会社、旅行者）をつなぐワンストップ窓口としての機能を担います。

(事業内容)

- ・過ごし方、食事、宿泊の情報を 1 か所に集約し、観光案内所や専用ウェブサイトを運営します。
- ・個人向け手配旅行及び募集型企画旅行の企画販売（コーディネーター＆ランドオペレーター）

(期待される効果)

- ・松川に関心のあるお客様を漏れなくもてなす。
- ・町内の資源とお客様を適切につなぎ合わせます。

##### (3) 広報・マーケティング

(目的)

・市場（旅行会社、旅行者）に対し、松川町の地域ブランドを、魅力的

かつ一元的にプロモーションします。

・観光地域の魅力向上や、リピーターの確保（再来訪意向）等の情報を資源化し、これらをもつ高める取り組みを検討します。

（事業内容）

・パンフレット、ウェブサイト、SNS 等による情報発信と効果測定（満足度調査等）

・ふるさと納税の返礼イン選定や開発を行います。

（期待される効果）

・新たな松川ファンの獲得と「松川ブランド」の更なる磨き上げ。

（4）松川青年の家後利用事業（検討中）

（目的）

・地域資源を活用した滞在交流型観光における自然を活かした体験と宿泊の拠点として活用します。

（事業内容）

・家族客、若年層を対象にした宿泊施設を提供します。

・自然体験や環境教育のプログラムを提供します。

（期待される効果）

・日帰り客、若年層等、新たな交流人口を取り込み、観光消費額増加と雇用の創出を図ります。

・体験教育の環境充実＝子育て環境の充実

（5）農家民泊事業（観光公社調整・自主）

（目的）

農家民泊事業を通じて、都市と農村との交流を推進するとともに、農家の収入増を図ります。

（事業内容）

・農家民泊（調整事業）を実施します。

・農家関係者との協働により、農ブランドを体感してもらうための、仕組みづくりに取り組みます。

・農家民泊事業を新たに企画販売します。

（期待される効果）

・新たな農家民泊事業を展開することで、宿泊者数の増につなげます。

4-2-3. 個別の事業計画（ロードマップ） … 別紙 2

4-2-4. 中期経営計画（別紙） … 別紙 3

4-3. 経営目標

観光地域づくりの取り組みを通じて、交流人口の増を図るとともに、以下の経営目標を達成することを目指します。

尚、年度毎の目標設定等については、今後検討を行うものとします。

#### 4-3-1. 公益目標

主に公益（委託）事業を実施することによって、地域全体にどのような成果を達成するのか（もたらすのか）、ということを目標として示したものです。

「第5次総合計画（2016年3月）」や「まち・ひと・しごと創生総合戦略（2015年10月）」と整合させた、地域全体にとっての経営目標を定めます。

指 標	実績 2014年度	現在 2016年度	町の総合 計画目標 2019年度	松川町版 DMO 目標 2023年度	指標とする 理由
入込客数 ※1	③ 2,634 百人	③ 2,963 百人	③ 3,000 百人	3,335 百人	地域にどれだけの人を訪れているのか、どの程度の消費活動を行っているのかという地域経済に与える影響を把握する。
延べ宿泊者数※2	180 百人	182 百人	—	200 百人	
旅行消費額（1回当り）※3	—	524,171 千円 [2015年度]	—	624,671 千円	
来訪者満足度※4	—	調査中 [2017年度]	—	検討中	
再来訪意向※5	—	調査中 [2017年度]	—	検討中	
WEB アクセス数※6	—	調査中 [2017年度]	—	検討中	
滞在交流プログラムへの町民参加者数	—	—	—	120 人	
年間転入者数※7	④ 399 人	④ 371 人	④ 435 人	435 人	UI ターン等でどれだけ自地域に移住しているのか把握する。

※1, 2 : 県観光地利用統計調査数値

※3, 4, 5, : 来訪者アンケート調査数値（2017年度より実施）

※6：観光局（現在町観光協会）のホームページアクセス数

※7：年間転入者数

⑥＝総合計画 ⑦＝まち・ひと・しごと創生総合戦略

#### 4-3-2. 自主事業に関わる目標

持続可能な組織として必要となる自主事業に関わる目標を示します。

指 標	実績 2014 年度	現在 2016 年度	DMO 目標 2023 年度
自主事業売上額	—	—	40,085 千円
公益事業割合	—	93% [2018 年度]	71%
滞在交流プログラム参加者数	—	—	720 人
旅行商品取扱人数	—	—	700 人
農家民泊数（自主事業分）	—	—	300 人
青年の家後利用の宿泊者数	—	—	4,080 人
清流苑宿泊者数	180 百人	182 百人	200 百人

#### 4-4. 組織体制

##### 4-4-1. 法人形態

- ・公益事業と収益事業を両方実施することから、一般社団法人（非営利法人）とします。
- ・組織の目的は、地域全体の活性化であり、株式会社のような構成員への利益の分配ではなく、公共性の高い事業を行うことから、「非営利法人」が適切と考えます。
- ・原則として事業目的に制限がなく、収益事業を行うことができる『一般社団法人』とします。

##### 4-4-2. 組織体制 … 別紙 4

#### 4-5. その他

##### 4-5-1. 定款（案） … 別紙 5

日本版 DMO の県内先進事例を参考にするとともに、専門家の助言を踏まえ、

策定したものです。

#### 4-5-2. 基金

一般社団法人の予算規模（中期経営計画）を踏まえ、キャッシュフロー計算書により検討を行い、専門家の助言を踏まえ、必要な基金額を500万円と算出しました。

組織設立後は、関係団体へ拠出を依頼するとともに募集を行い、拠出額を決定します。

#### 4-5-3. 年会費

日本版DMOの県内先進事例を参考にするとともに、松川町観光協会の会費水準等も考慮し、設定します。

#### 4-5-4. 事務所の位置

松川町交流センターみらい又は旧長野県松川青年の家の2か所が候補地として想定されます。

尚、設立検討委員会としては、松川町交流センターみらい内に事務所を置くことが適切であると纏められました。

#### 4-5-5. 組織名称

設立検討委員会及び戦略会議において、意見交換を行い、検討を行い、以下のとおり素案を纏めました。

- ① 南信州まつかわ観光局
- ② 南信州松川まちづくり観光局
- ③ おいな・まつかわ観光まちづくりセンター